

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	06	0418	婚活支援団体育成事業	
総合計画	分野	地域づくり				
	政策	4-1	地域主体のまちづくり			
	施策	1	地域づくりへの参加促進			
目的	人口減少に歯止めをかけるため、結婚活動支援団体を育成する。					
対象	結婚活動を支援する団体					
意図	結婚活動支援団体を育成することにより、婚姻数が増加する。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
<p>○婚活支援団体活動助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内で婚活支援活動を行う団体等が行うマッチング事業に対し、婚姻成立件数に応じ助成金(30千円/1件)を交付。 「はなまき婚活サポーター」登録 助成金の交付を受けようとする団体は、あらかじめ「はなまき婚活サポーター」として登録。 助成金交付の条件 <ul style="list-style-type: none"> ①はなまき婚活サポーターが行うマッチング事業であること ②婚姻成立後、花巻市に居住すること。 <p>○いきいき岩手結婚サポートセンター運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県、県内全市町村及び企業等が運営委員として事業運営、利用促進に関し協議するほか、運営 に要する経費の一部として負担金を納付する。 						
市民参画の有無 []						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	○ 補助・助成	委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 助成件数	件		計画		10	
			実績		1	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 登録団体の支援による婚姻数(対前年比)	%		目標		153.0	
			実績		115.0	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
人口減少に歯止めをかけるため行う結婚活動支援団体育成事業は、結婚活動を行う団体を育成し、助成金を交付することによって、婚姻件数が増加し、出生率が向上することにより人口増を目指すものである。 平成27年度において、補助金交付対象者の見直しを行い、非営利団体のほか条件付きで株式会社等を対象者とするよう規約改正を行った(H27.10)ことにより2団体が登録(株OSK・10月、JA花巻・12月)したが、株OSKについては成婚数は増加したものの、市内に居住するカップルが少なかったこと、JAいわて花巻においてはH27.8月事業開始から間もないため、事業が安定していない等が指標の目標値を達成されなかった要因と考える。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	地方消滅都市の可能性もある中、人口減少対策は市が率先して行う必要がある。
有効性	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	この事業を行うことにより、結婚活動支援団体のモチベーションの向上が図られ、より一層の婚姻数の増加が期待できる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	1件あたりの成婚に応じた助成金額としては最低限の金額と考える。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	団体への助成金は単なる団体支援ではなく、婚姻件数に応じて支出するものであることから、費用負担として目的にかなったものとする。
総合評価 …上記評価結果の総括		
民間団体においてはこれまでも独自に結婚活動支援事業を行い、市は情報提供などの事業を行ってきた。今回、人口減少対策としてさらに踏み込んだ公的な関与を行うために、すでに結婚活動支援事業を行っている団体に対し、助成金を支出し育成しようとするものである。 平成27年度においては、補助金交付対象者の見直しを行い2団体を登録することができたが、補助金の交付は1件のみであったことから、登録団体との連絡会議等を開催し事業の進行を確認するなど連携した婚活支援を行う。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 総合政策部 課名 地域づくり課 担当係長 佐々木 学 内線 454

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	06	0418	婚活支援団体育成事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			280		280
財 源 内 訳	国・県		30		30
	地方債				
	その他				
	一般財源		250		250

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

事業開始の背景・経緯

人口減少対策ワーキンググループ検討事項

事業概要

- 婚活支援団体活動助成金
 - ・市内で婚活支援活動を行う団体等が行うマッチング事業に対し、婚姻成立件数に応じ助成金(30千円/1件)を交付。
 - ・「はなまき婚活サポーター」登録
助成金の交付を受けようとする団体は、あらかじめ「はなまき婚活サポーター」として登録。
 - ・助成金交付の条件
 - ①はなまき婚活サポーターが行うマッチング事業であること
 - ②婚姻成立後、花巻市に居住すること。
- いきいき岩手結婚サポートセンター運営事業
 - ・岩手県、県内全市町村及び企業等が運営委員として事業運営、利用促進に関し協議するほか。

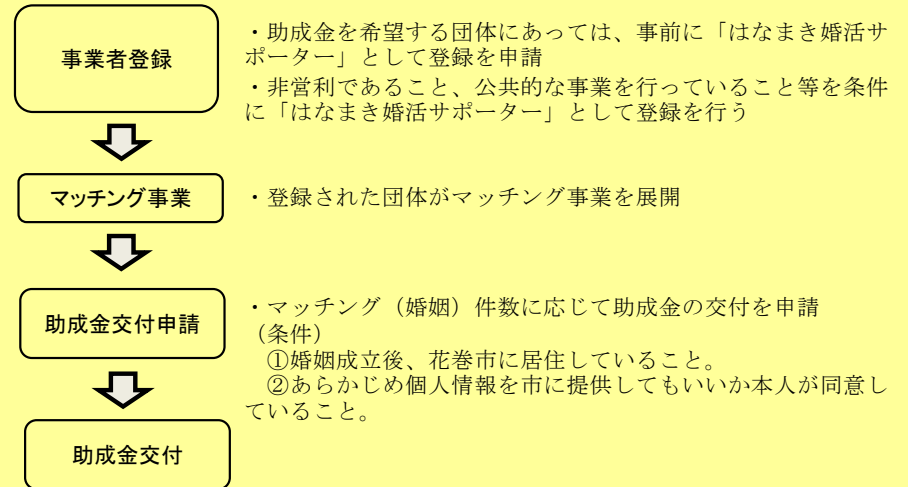
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

結婚活動支援団体であるNPO法人おせっ会からは、婚姻件数に応じた助成金について要望がある

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

- <9-1>縁結び事業 及び<9-2>縁結び祝い金制度 については、<9-2>縁結び助成金制度に統合・整理する。
【理由】
 - ・<9-1>縁結び事業として支援員を設置する場合、成果に疑問（縁結び事業は一関市の事例。一関では年間2件程度と成果がでていない。）
 - ・花巻市では、すでに縁結び事業を行っているNPO法人があり、NPO法人等市民団体の活動により事業を展開していくことが効果的である。（事業のノウハウ、成功率等）
 - ・NPO法人等にインセンティブとして助成金を交付することにより、縁結び事業のさらなる動機づけとなる。

○事業のスキーム



- 事業費の積算
婚姻成立件数(想定) 1件 × 30千円 = 30千円

<参考>
NPO法人おせっ会の婚姻成立件数 13件(市外成婚件数を含む)